

第 213 回化学コロキウムのご案内

題目：ヘレンケラー問題 ～手触りによる水認知のメカニズム～

講師：野々村美宗 准教授(山形大学大学院理工学研究科)

日時：11月30日(金) 13:30～14:30

場所：8号館301室

講演要旨：水の手触りは魅力的である。ヘレンケラーは少女だったころ、その素晴らしさを瞬時に感じたという。われわれは摩擦評価装置・高速カメラ観察・コンピュータシミュレーションを用いてヒトが触覚で水を認知するメカニズムを界面科学的な見地から解明した。さらに力覚呈示装置により水の手触りを再現することに成功した。これらの成果はバーチャルリアリティシステムやロボットの開発だけでなく、化粧品、繊維など幅広い工学の分野で注目されている。

野々村先生には、11月30日(金)と12月1日(土)に大学院集中講義「ソフト界面の物理と化学 ～画期的な食品・化粧品・医薬品の開発を目指して～」をお願いしています。

連絡先：首都大学東京 大学院理工学研究科 分子物質化学専攻

加藤 直(内 3435) kato-tadashi@tmu.ac.jp 好村滋行(内 3455) komura@tmu.ac.jp